

岩手県医療的ケア児支援センター  
相談窓口 令和6年度業務報告書

社会福祉法人新生会 みちのく療育園メディカルセンター内  
岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口

管理責任者	小山 耕太郎
医療的ケア児等コーディネーター	大力 聡美
	小笠原 綾子
	伊藤 由香

## 岩手県医療的ケア児支援センター 相談窓口 業務概要

(ア)(イ)(ウ)相談支援業務:令和6年4月1日～令和6年12月31日実績

その他、主催事業や研修等:令和6年4月1日～令和6年12月31日実績

以下に関する業務を行うこと。なお、これらに附随した業務も担うこと。

### ア 相談支援

ア 医療的ケア児及びその家族への相談対応、活用可能な社会資源等の情報提供

イ 医療的ケア児等からの相談内容に応じた地域支援者への取り次ぎ及びフォローアップ

ウ 医療的ケア児等コーディネーター等の地域支援者への専門的なサポート

エ 医療的ケア児及びその家族を対象とした交流会の実施

オ 新生児集中治療室(NICU)等のカンファランスへの参加を通じた在宅移行支援

### イ 体制構築支援

ア 地域の医療的ケア児支援に係る協議の場等での専門的な情報提供及び助言

イ 県内の4つのスーパーバイズチーム設置に向けた医療関係者等との調整

ウ 医療的ケア児支援に係る研修・啓発セミナーの実施

エ 県主催の岩手県医療的ケア児支援センター運営協議会及び実務者会議への参加

オ 県内における外部主催の各種研修への対応(講師・参加等)

### ※留意点

市町村をはじめ、地域における関係機関の対応力が向上し、相談支援体制等の充実・強化が図られるよう、支援や助言を行うこと。

## 【受託業務報告】

### ア 相談支援

(ア)医療的ケア児及びその家族への相談対応、活用可能な社会資源等の情報提供

(イ)医療的ケア児等からの相談内容に応じた地域支援者への取り次ぎ及びフォローアップ

#### ○相談業務(別紙参照)

- ・令和6年4月～令和6年12月までの相談件数  
相談新規件数:61件(延べ相談件数:226件)  
(内訳)個別支援:新規17件、継続110件(延べ相談件数:127件)  
支援者支援:新規44件、継続55件(延べ相談件数:99件)

#### 【相談の特徴】

- ・在宅移行支援は介入が必要なケースについて情報が来るが、地域の支援者で完結できるケースも増えている。
- ・岩手医科大学以外の基幹病院から在宅移行の情報共有が来るようになった。
- ・地域のコーディネーターから介入の仕方について問い合わせが来るようになった。
- ・相談員からショートステイについて相談を受けても実施している施設が少なく、サービス利用につながらない。それをご家族に伝えると諦めてしまい県支援センターの相談にもつながっていないことがあるという実情が見えてきた。
- ・自宅近くでリハビリを受けたい、リハビリを受ける頻度を増やしたいという相談が寄せられている。
- ・大学病院からの在宅移行については地域のコーディネーターの活動が見えている自治体は患者サポートセンターからコーディネーターに情報提供したり退院前カンファランスの参加要請されるケースが増えている。一方で活動が見えにくい自治体は病院から保健師のみの情報提供になり、コーディネーターが介入できる仕組みが整っていない。
- ・医療的ケア児の場合、遠方の支援学校に通っているケースもあり、送迎が家族の負担になっている事が多い。また、家族が体調不良になった場合送迎できずに学校を休まざるを得ないというケースも見られた。支援学校分教室の設置や送迎に関する支援を求める相談も寄せられている。
- ・個別避難計画の策定のような災害時支援に関する相談も寄せられている。

#### ○相談支援に係る支援会議・訪問・面談

- |  |     |
|--|-----|
| ・個別ケースに係る支援会議<br>(在宅移行、保育園入園、就学、サービス調整、ヤングケアラーなど)            | 9件  |
| ・自宅や施設への訪問、状況確認<br>(自宅、保育園、保育施設、学校、自治体、医療機関、相談支援事業所、通所事業所など) | 16件 |
| ・面談  | 5件  |
| ・施設見学同行(学校)  | 1件  |
| ・聞き取り(個別避難計画)  | 1件  |



## ○医療的ケア児のための就学・進学説明会(岩手県教育委員会共催)

【目的】医療的ケア児の保護者に就学・進学に関する正しい情報を伝え、早期支援につなげる

②就学・進学する医療的ケア児を自治体ごとに事前に把握し、スムーズな支援につなげる体制構築を促す。

③教育・福祉の相互理解を促し、地域で保護者へ必要な情報提供ができるよう体制構築を目指す。

【開催日・開催地】令和6年 6月 5日(水) 久慈市元気の泉

6月11日(火) 盛岡市 ふれあいランド岩手ふれあいホール

6月14日(金) 大船渡市防災観光交流センター 多目的室1・2

7月 9日(水) 北上市保健・子育て支援複合施設hoKko ふれあいホール

7月12日(金) 宮古市イーストピアみやこ 会議室1・2

7月19日(水) 一関市文化センター 小ホール

計6回(教育事務所管轄ごとにハイブリッド開催)

### 【振り返り】

・昨年度保護者から「学校での様子をもっと知りたい」という声を受け、今年度は実際に支援学校や地域の学校へ通っている児童・保護者・学校関係者等からヒアリングを行い説明会の中で紹介した。参加した保護者からは「学校生活をイメージすることができた」と感想をいただいた。

・説明会のあとに情報交換会を開催し、現在の課題や行っている取組みなどを参加者同士で共有することができた。

### 【来年度に向けて】

・地域で支援者同士が連携できているケースも増えており、来年度は規模を縮小し開催する予定。

令和6年度 岩手県医療的ケア児支援センター主催 地域力向上事業

ハイブリッド開催

会場定員:50名  
オンライン定員:80名

## 医療的ケア児のための 就学・進学説明会

【対象者】医療的ケア児とご家族  
医療的ケア児の就学に関わる教育・福祉の関係者

開催日時・会場 各会場12時45分～受付開始  
13時00分～15時00分開催

日時	開催地	会場名	対象地域	申込締切日
6月5日(水)	久慈市	元気の泉	二戸市・軽米町・九戸村・一戸町・久慈市・洋野町・野田村・普代村	5月22日(水)
6月11日(火)	盛岡市	ふれあいランド岩手ふれあいホール	盛岡市・八幡平市・滝沢市・平石町・葛巻町・岩手町・紫波町・矢野町	5月28日(火)
6月14日(金)	大船渡市	防災観光交流センター多目的室1・2	大船渡市・陸前高田市・釜石市・住田町・大槌町	5月31日(金)
7月9日(火)	北上市	北上市保健・子育て支援複合施設hoKkoふれあいホール	花巻市・北上市・遠野市・西和賀町	6月25日(火)
7月12日(金)	宮古市	宮古市市民交流センター会議室1・2	宮古市・山田町・田野畑村・岩泉町	6月28日(金)
7月19日(水)	一関市	一関市文化センター小ホール	奥州市・金ヶ崎町・一関市・平泉町	7月5日(金)

申込方法

・右のQRコードよりお申込みください  
 ・各会場定員を超えた場合は人数の調整をさせていただきます(医療的ケア児とその保護者優先となります)  
 ・感染対策のため、体調不良時はオンライン参加への切替等にご協力ください

医療的ケア児の就学・進学に関する「ながれ」をわかりやすく伝えます

今後、もっと前向きにたくさんの人に相談し、良い方向を見つけていきたいと思います (保護者)

保護者さんが参加していることが分かった (教育関係者)

流れがわかり、とても参考になりました。早い段階から教育委員会の方とも情報共有しながらかわってほしい (支援者)

(令和6年度就学・進学説明会開催後アンケートより感想一部抜粋)

共催:岩手県教育委員会  
 後援:一関市・一関市教育委員会・大船渡市・大船渡市教育委員会  
 北上市・北上市教育委員会・久慈市・久慈市教育委員会・宮古市・宮古市教育委員会・盛岡市・盛岡市教育委員会(五十音順)

【お問合せ先】  
 岩手県医療的ケア児支援センター 小笠原  
 電話 080-8898-5339  
 メール shien@icare-iwate.jp

【参加者総数】 111名

久慈市会場 21名

盛岡市会場 36名

大船渡市会場 7名

北上市会場 16名

宮古市会場 13名

一関市会場 18名

### 【参加方法】

来場者 85名

オンライン参加者 26名

### 【所属別】

保護者 15名

お子様 2名

市町村コーディネーター 21名

教育関係者 15名

保育園・幼稚園関係者 12名

行政職 23名

相談支援専門員等福祉職 19名

看護師 4名

## (ウ)医療的ケア児等コーディネーター等の地域支援者への専門的なサポート

### ○ICCC事業(Iwate Care Coordinator Collective)

【目的】令和元年度に始まった医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者は令和5年度で約200名いるが、実務に携わっている者が少なく、業務をするうえでもコーディネーター同士の横の連携が取れていない実情がある。そのため、修了者を対象としたネットワーク(ICCC)を構築し、①情報提供と②知識や技術の向上の2点に取り組むことを目的とする。

【内容】①情報提供(岩手県医療的ケア児等コーディネーター向けのメール配信サービス)  
②岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者向け勉強会

#### 【第4回ICCC勉強会】

【題名】「地域でチームをつくる」

【概要】令和5年度に開催した地域の中におけるつながり方に関する勉強会を具現化するため、

- ①個別または事業所別の困りごとや地域課題を抽出すること、
- ②講義を通じて岩手県が目指す地域づくりや支援センターの方向性を伝達・共有すること
- ③ワーク「地域の社会資源マップづくり」

これらを通じて地域での実働に活かすことの3つの枠組みで実施する。

【内容】 午前 行政説明「医療的ケアアドバイスチーム事業について」  
主催事業説明「相談窓口における事業紹介」  
ワーク「地域の困りごとの抽出およびフレームワーク」  
午後 ワーク「地域における資源マップの作成」

【日程】 令和6年 5月17日(金) 宮古市地方創生センター  
令和6年 5月21日(火) 盛岡市ふれあいランド岩手  
令和6年 7月23日(火) 釜石市民ホールTETTO  
令和6年 8月 6日(火) 北上市総合福祉センター (各会場ハイブリッド開催)

【参加者】 宮古会場 13名(会場6名、オンライン7名)  
盛岡会場 27名(会場12名、オンライン15名)  
釜石会場 9名(会場3名、オンライン4名)  
北上会場 13名(会場9名、オンライン4名)

**参加総数62名**

ワークは就園就学に係る困りごとを抽出しながらおこなったが、自地域における実践を知覚することで既存の地域資源の活用法を考える、資源の創出策に対するイメージを形成することにつながった。参加者からは「情報交換の機会は、様々な気づき、他地域の取組みの工夫を知ることができ勉強になる」などの声があり、勉強会の意義や継続に対するニーズが伺えた。



## (工)医療的ケア児及びその家族を対象とした交流会の実施

### ○当事者交流事業医療的ケア児・者の「遊びと語りの場」I care パーク(岩手県子育て支援室協力)

目的:①子ども保護者も楽しむ場の提供を通し、子育てのたのしさを知る機会の提供を行う

②保護者同士のつながりを作る

③各自治体の保育・子育てに関わる方々が医療的ケア児とその保護者を知る場を提供し、地域で子育て支援や保育園就園の取組につなげてもらうきっかけとする

内容:お祭りをテーマにした遊びの提供を地域の子育て支援の中で取り組めるもの中心に行う

※各自治体には保育・子育て支援に関わる職員の方々に当日参加をお願いする

対象:医療的ケア児者と保護者、きょうだい児(各会場5組を上限とする)

開催日・場所:令和6年 9月24日(火) 一関市 保健センター

10月 9日(水) 花巻市 生涯学園都市会館1階こどもセンター

10月22日(火) 盛岡市 バスセンター子育て支援センター遊びの広場

11月 5日(火) 釜石市 鶴住居保育園子育て支援センター

参加者:総数18名(申込総数 12組26名/キャンセル 3組8名)

父親1名、母親9名、医療的ケア児ご本人7名、きょうだい児1名

会場	参加者	お子さんの年齢等	センターで用意したあそび	会場で用意したもの
一関市	医療的ケア児と母親2組(4名)	2歳・4歳	お祭り屋台ごっこ	ボール転がしゲーム
花巻市	医療的ケア児と母親2組(4名)	1歳・3歳	お祭り工作 音楽あそび	音あそび 手作りおもちゃ
盛岡市	医療的ケア児・者の母2名(2名)	—	—	—
釜石市	医療的ケア児と母親2組 父・母・きょうだい・医療的ケア児の家族1組(合計8名)	5歳・3歳・2歳 妹0歳	お祭り工作・屋台ごっこ・音楽あそび	ボールプール・滑り台など

### 振り返り

一関市会場： 参加されたお子様が年齢にあった並行遊びが行われてる様子に市の担当者が気づき、遊びで発達を促すことの必要性について考えてくれた。その後市内在住のてんかん発作のあるお子様への個別の遊び場開放につながった。

花巻市会場： 市町村コーディネーターも参加し、子育て支援センターとの連携について気づきがあった。今後は希望のある方は子育て支援センターへ紹介することにした、とのこと。

盛岡市会場： 昨年の開催後に医療的ケア児に遊び場を開放してほしいという保護者の問い合わせがあり、今年度は子育てサポートセンターを開放するイベントにつながった。

釜石市会場： すでに地域の子育て支援センターを医療的ケア児が利用していたり併設の保育園に通っているお子さんもいるため、市の支援者もスムーズに保育をしていた。



○地域で開催される家族会等への参加等

4月16日(火)	紫波町 オレンジの会(紫波南さぶりフリースペース)	参加
6月30日(日)	アイライン岩手の会主催・岩手県医療的ケア児支援センター協賛事業 集まれ！アイライン2024(ビックルーフ滝沢)	参加
8月 3日(土)	難病のこども支援東北ネットワークがんばれ共和国(みちのく七夕キャンプ)	見学
9月 9日(月)	リトルベビーサークル(北上市ゆみんこんち)	参加
11月 2日(土)	令和6年度宮古圏域地域障がい児支援体制強化事業 社会福祉法人若竹会 児童発達支援センター かぐや 主催 「医療的ケア児三陸鉄道乗車体験交流会」	参加
11月17日(日)	岩手県重症心身障害児(者)を守る会(ふれあいランド岩手)	参加

【振り返り】

- ・家族会等で当事者の困りごとを把握することができ、県に報告をした。
- ・家族会から相談につながったケースもあり、地域の支援者ともつながることができた。
- ・今年度初めて協賛以外のイベントに呼んでいただいた。社会経験が少なくなりがちな医療的ケア児にとって貴重な機会であり、子ども達も保護者も楽しい様子が見られた。今後県内で医療的ケア児を対象としたイベントが増えると、地域の皆様に医療的ケア児に知ってもらう機会となること、災害時の避難の準備などにもつながるため、依頼がある場合は積極的に参加していきたい。

(オ)NICU・GCU主催のカンファランス出席、在宅移行支援

○小児科合同カンファランス参加状況:6件

【開催日】4～7月第1水曜日 13時～→8月から第2木曜日へ変更

【参加日】令和6年 4月10日(火)

令和6年 5月 8日(水)

令和6年 7月 3日(水)

令和6年 8月15日(木)

令和6年11月14日(木)

令和6年12月12日(木)

【振り返り】地域のコーディネーターへつながるケースも増えているが、コーディネーターとして表立った活動が少ない方へは情報が行かないケースもあった。大学病院MSWや退院調整看護師にも現状を伝え、退院時は保健師のほかにコーディネーターにも情報提供してもらい、必要時支援会議にも参加させてもらうようお願いした。

情報共有の事前同意の取得等については各医療機関等とも協議をしながら仕組み化を図りたい。

## イ 体制構築支援

(ア)地域の医療的ケア児支援に係る協議の場等での専門的な情報提供及び助言

○地域の協議の場への参加:33件

【自立支援協議会】5件

- 5月27日(月) 盛岡市庁内連携会議
- 7月10日(水) 宮古圏域自立支援協議会 発達支援部会
- 7月29日(月) 盛岡市教育委員会 医療的ケア児運営協議会
- 10月17日(木) 北上市自立支援協議会 子ども部会
- 12月 9日(月) 宮古市避難訓練
- 12月20日(月) 滝沢市個別避難計画作成

振り返り:今年度は地域の協議の場への参加は5件と少なかった。一方で講師として呼ばれる機会がある。

県支援センターの協議の場への参加について自治体の自立協の担当者などへ周知されていない、または認識の違いがあるかもしれないため、今後自立支援協議等医療的ケア児の協議の場への参加について、再度周知するか検討が必要。

(イ)県内4つのスーパーバイズチーム設置に向けた医療関係者等との調整

○関係機関訪問

- 5月 1日(水) 公益社団法人 岩手県看護協会
- 5月 1日(水) 一般社団法人 岩手県薬剤師会
- 5月 2日(木) 一般社団法人 岩手県歯科医師会
- 5月 9日(木) 一般社団法人 岩手県訪問看護ステーション協議会
- 5月18日(土) 一般社団法人 岩手県医師会 郡市医師会長会議
- 6月21日(金) 一般社団法人 岩手県社会福祉士会
- 7月30日(火) 公益社団法人 岩手県栄養士会
- 8月30日(金) 北上市役所 福祉部 障がい福祉課
- 9月18日(水) 宮古市役所 保健福祉部 福祉課 障がい福祉係  
山田町役場 健康こども課
- 9月25日(水) 西和賀町役場 健康福祉課  
八幡平市役所 地域福祉課 障がい福祉係
- 10月21日(月) 岩手県立中部病院
- 11月 6日(水) 岩手県医療ソーシャルワーカー協会
- 11月29日(金) 岩手県中央病院
- 12月 4日(水) 公益社団法人 岩手県看護協会
- 12月26日(木) 滝沢市役所 子ども家庭センター、障がい福祉課、教育委員会

※岩手県保健福祉部障がい保健福祉課単独訪問を除く

○周知活動

- 5月17日(金) 第4回ICCC勉強会にて医療的ケア児等コーディネーター向け説明会(宮古)
- 5月21日(火) 第4回ICCC勉強会にて医療的ケア児等コーディネーター向け説明会(盛岡)
- 7月17日(水) 岩手県医療的ケア児支援センター アドバイスチーム 市町村説明会
- 7月23日(火) 第4回ICCC勉強会にて医療的ケア児等コーディネーター向け説明会(釜石)
- 8月 6日(火) 第4回ICCC勉強会にて医療的ケア児等コーディネーター向け説明会(北上)

## (ウ)医療的ケア児支援に係る研修・啓発セミナーの実施

### ○医療的ケア出張講座

目的:①実際にモデル人形を用いて医療的ケアを体験することで医療的ケアへの理解を深めてもらう。また、地域で医療的ケア児を受け入れる準備として実技研修を行うことで支援者も安心して受け入れを進めることができる。

②実際に医療機器を装着しながら移動をしてみることで、支援者が具体的にどのような視点で支援を行ったらいのか知ることができる。

また、災害時に避難する際、どのくらい時間がかかるのか等行動指針を決める参考とさせていただく。

対象:岩手県内の学校・保育園・通所事業所・行政等団体を主な対象者とし、それ以外にも医療的ケアを学びたい方についても対応する。

開催方法:申込者の用意した会場へ医療的ケアモデル人形や医療機器を持参し実技の体験をしていただく。

#### 内容: A 基礎講習(90分)

・医療的ケアの説明、医療的ケアの体験、質疑応答

実施可能なケア

(経鼻経管栄養・胃瘻からの経管栄養・気管カニューレ管理・吸引・導尿)

#### B 移動体験講習(180分)

・A基礎講習の内容+医療機器を実際に利用しながらの移動体験

実施状況:全受講者数160名

#### A 基礎講習11件

#### B 移動体験講習 3件

4月13日(土)	岩手医科大学アウトドア同好会	りんごネード出張講座(移動体験講習)
4月14日(日)	岩手医科大学アウトドア同好会	りんごネード出張講座(移動体験講習)
6月21日(金)	岩手県立気仙光陵支援学校	(基礎講習と事前質問に対する解説)
7月 3日(水)	滝沢市	こどものデイサービスなないろ(基礎講習と坐薬挿入体験講習)
7月11日(木)	花巻市 株式会社ひとしずく	訪問看護ステーションはちどり 基礎講習、移動体験講習、発電機体験講習(北良株式会社防災事業部による)
7月16日(火)	盛岡市子ども未来部子育てあんしん課	(盛岡市立保育所職員に対する基礎講習)
10月 3日(木)	岩手町保育所職員研修	(基礎講習)
10月 8日(火)	岩手県立前沢明峰支援学校	(基礎講習と胃管抜去に関する手技確認)
11月13日(水)	宮古市自立支援協議会	(基礎講習)
12月 9日(水)	一関市 特定非営利活動法人 奏楽のたね	(基礎講習と坐薬挿入体験講習、エピペン取扱いに関する講習)
12月11日(水)	奥州市立いずみ保育園	(基礎講習)

振り返り: 昨年度は基礎的な講習を希望する施設が多かったが、今年度は実際に受け入れを行っている施設からより実践に則した講習を希望する声が多かった。ニーズを把握し、それに合った内容の講習を行った。アンケートの内容からは「てんかん発作があっても安心して対応できそう」「他のケアについても教えてもらいたい」などの感想が見られた。

# 受講者内訳

## 【所属】

医療	福祉	保育	教育	行政	地域	社協	自立協	当事者	その他
3	21	79	14	17	0	0	26	0	0

## 【職種】

医師	看護師	保健師	助産師	栄養士	養護教諭	保育士	幼稚園教諭	教員	介護士	ヘルパー	支援員	相談員	行政母子	行政助産師	行政栄養士	行政教育	行政福祉	行政防災	管理職	事務	家族会	子育てボランティア	用務員
0	18	1	3	2	3	58	0	8	0	3	16	3	14	1	2	2	5	0	16	1	0	1	2

**若手県医療的ケア児童支援センター主催**

### 医療的ケア出張講座

若手県医療的ケア児童支援センターでは、医療的ケアモデル人形などを用いた「医療的ケア出張講座」を実施しています。

**対象**  
保育員、幼稚園、児童発達支援事業所、学校、子育て支援センター、児童発達支援ステーション、行政などの医療的ケア児と家族が利用する場所や避難訓練等の場面でかわかる支援者

**主な講座の内容**

**A. 基礎講習(90分)**

- 医療的ケアに関する講義
- 医療的ケアのデモンストレーションと体験
- 質疑応答

**B. 移動体験講習(180分)**

- A. 基礎講習の内容
- パピーや人工呼吸器に関する説明
- 移動体験

**C. 発電機体験講習(60分)**

- 発電機体験講習による講義で、災害時の備えを学習・体験できます。

※いずれの場合も会場はお申込費にご準備いただいております

**お申し込みから受講までの流れ**

原則休日はまたは金曜日の9時半～17時までに行われるスケジュールでお受けしております

- 右記お申し込みコードからお申し込み
- ※ 移動体験講習をご希望の場合は、1カ月以上前にお申し込みください
- 担当よりメールまたは電話でご連絡します
- 日程および内容等の詳細を相談
- 医療的ケア出張講座 受講
- フォローアップ

**お問い合わせ窓口**  
若手県医療的ケア児童支援センター 相談窓口  
電話 019-411-0610 メール shien@icare-iwate.jp

【主催】 北広株式会社  
株式会社フィリップス・シヤパン



## ○市民公開講座「ぼく・わたしのすきなこと」

【目的】一般の方にも広く医療的ケア児を含む地域づくりについて知ってもらうことを目的に、医療的ケアの必要なお子様とご家族のお話を聞き、医療的ケアの必要な「この子」を見つめる。一人の子どもとして地域で暮らす子ども達を地域、岩手でどう支えていけばいいのか。子どもの気持ちや思い、将来の夢、得意なこと、たくさんの可能性に目を向ける

【日程】令和6年9月14日(土) 市民公開講座A・B アイーナ いわて県民情報交流センター 会議室804  
令和6年9月14日(土)～16日パネル展C アイーナ いわて県民情報交流センター 県民プラザ

### 【内容】A 午前の部 支える仕組み

支える仕組み①「この子」と家族たちが教えてくれたこと～個別支援から地域へ～

公益社団法人 地域医療振興協会シティ・タワー診療所

家族支援専門看護師 市川 百香里 氏

支える仕組み②「医ケアでシンカした八戸」

NPO法人夢 主任相談支援専門員 清水 博己 氏

### B 午後の部 知ってほしい「ぼく・わたしのすきなこと」

「ぼくの好きなこと」

岩手県内にお住いの地域の小学校に通うお子様と保護者様

「ともに支える・ともに暮らす」

社会福祉法人岩手ひだまり会 ひだまり水沢☆きらり

管理者 伊藤 恵美 氏

### C 啓発企画展「ぼく・わたしのすきなこと」パネル展

掲載団体 アイライン岩手の会(医療的ケア児・者親の会)

岩手県重症心身障害児(者)を守る会

岩手県立療育センター 児童発達支援センター「つくしんぼ」

岩手県立療育センター 児童発達支援事業所・生活介護「かがやき」

児童発達支援事業所「なないろぷち」/放課後等デイサービス「なないろ」

一般社団法人 障がい者の福祉を広げる会

特定日営利活動法人 奏楽のたね 放課後デイサービス「そらのわ」

社会福祉法人岩手ひだまり会 多機能型事業所「ひだまり水沢☆きらり」

訪問看護ステーション「はなえみ」

みちのく療育園メディカルセンター

みちのく療育園メディカルセンター 児童発達支援事業所・生活介護「ぼかぼか」

パネル展 「支える仕組み」展掲載団体

岩手県

岩手医科大学

岩手県歯科医師会

岩手県障がい者芸術活動支援センターかだあと

岩手県小児慢性特定疾病児童等自立支援センター

岩手県立大学 大学防災復興支援センター  
市町村の取組み ①盛岡市  
市町村の取組み ②一関市・奥州市・花巻市  
岩手県立児童館 いわて子どもの森  
紫波地域障がい者基幹相談支援センター  
スヌーズレンとおもちゃの広場  
北良株式会社

岩手県医療的ケア児支援センター

「医療的ケアってなあに」

「岩手県医療的ケア児支援センターの取組(相談支援・人材育成)」

#### 【実施状況】

- ・市民公開講座 参加者88名(参加申し込み者77名、当日参加11名)  
(家族18名、支援者26名、一般16名、講師等17名、その他11名)※運営スタッフを除く
- ・パネル展参加団体 24団体(事業所単位)
- ・9月14日～16日 総来場者数200名超(案内配布数より類推)
- ・アンケート回収 69件

#### 【振り返り】

##### 運営について

- ・3事業者で力を合わせて開催することができた。
- ・今年度運営スタッフ15名で臨んだ。来年度に向けて運営のありかたについて関係者間で協議する。
- ・福祉に興味のある学生が講演に参加したり、図書館帰りの人がパネルを見る等、一般の方で普段関わることのない方にも広く周知することができた。

##### 講演について

- ・他県の取組みを聞くことで刺激を受け、翌日青森県八戸市のイベントにそのまま参加する方もいた。他県から良い刺激を受けた。
- ・医療的ケア児のお子さん自身から話を聞くことができた。今後も本人の思いを大切にしていく。

##### パネル展について

- ・パネルでシールを作成したり、写真や作品展示をしたお子様が記念写真を撮りに来たりと、当事者も楽しめる企画になった。
- ・アンケートに対し肯定的な意見が多く、パネルにたくさんの笑顔があったことを素敵だと感じてもらうことができた。
- ・パネル展で職能団体からも展示があり、イベント実施すること自体が協力体制整備につながる取組みとなった。
- ・パネルや医療的ケアの説明資料は今後も使用できるものとして作成できた。イベント終了後何件か貸し出しを行っており、より貸し出しやすい素材に整備が必要となっている。



岩手県医療的ケア児支援センター主催  
**市民公開講座**  
**「ぼく・わたしの好きなこと」**

**日時** 令和6年9月14日(土) 10時～16時

**場所** いわて県民情報交流センター  
 アイーナ804会議室

**対象** 興味のある方はどなたでも

岩手県内の小学校に通う医療的ケアのある「ぼく」と「お母さん」が日々の暮らしのこと、だいずきなもの、たくさんのお話をします。  
 知ってほしいのは病気でもない、目に見えるケアのたいへんさでもない、地域でみんなと楽しく暮らす「ぼく」のこと。

**【講演プログラム】**

**午前の部 10時～12時30分 支える仕組み（岐阜県と青森県の事例）**

「この子」と家族たちが教えてくれたこと～個別支援から地域へ～

講師：公益社団法人地域医療振興協会 シタイクワー診療所 家庭支援専門看護師 市川 百香葉 氏

「医ケアでシカした八戸」

講師：NPO法人夢 主任相談支援専門員 清水 博己 氏

**午後の部 13時30分～16時 知ってほしい「ぼく・わたしの好きなこと」**

ぼくの好きなこと

講師：岩手県内の小学校に通うお子さんと保護者様

ともに支える・ともに暮らす（仮題）

講師：社会福祉法人岩手ひだまり会 ひだまり水沢立寄り 管理者 伊藤 恵美 氏

【申込】 午前の部・午後の部の半日単位でお申込みいただけます。お申込みはこちらから →

【締切】 令和6年9月5日(水)

※申込締切日に関わらず、定員100名に達した場合は申込を締め切らせていただきます

同時開催「ぼく・わたしの好きなこと」パネル展 9月14日(土)～16日(月)  
 【会場】 いわて県民情報交流センターアイーナ4階 県民プラザB-C

主催／岩手県医療的ケア児支援センター 後援／岩手県教育委員会

【問合せ先】 岩手県医療的ケア児支援センター 小笠原 ☎019-611-0610 ■shiem@icare-iwate.jp



## ○第1回支援者向け研修「医療的ケア児のあそびと保育～保育現場での事例を通して考える～」

目的:医療的ケアがどのようなものか、病気や障がいのある子どもにとって「あそび」とはどんな意味があるのかを学ぶ。保育園での事例を聞く事で地域の医療的ケアを必要とする子ども達に保育の現場でできることを考えることにより、各市町村の医療的ケア児就園体制の構築をうながすこと、すでに受け入れを行っている園の業務の充実に資する。

日程:令和6年11月15日(金) 10時～15時30分

場所:トーサイクラシックホール岩手 4階 第2会議室

(テーマセッション 第2会議室・第3会議室・第4会議室)

内容:①「医療的ケアってなんだろう？」

講師:岩手県医療的ケア児支援センター 医療的ケア児等コーディネーター 大力 聡美

②「病気や障がいのある子どもにとっての遊び」

講師:岩手医科大学附属病院 病院総務課 医療保育専門士 伊藤 貴子 氏

③「事例紹介 花巻市みどりの保育園の取組と実践」

講師:特別支援コーディネーター 阿部 美由貴 氏

担任(保育士) 大原 茉莉 氏

主任看護師 照井 いずみ 氏

④テーマセッション

会場1「医療的ケアを体験してみよう」担当:伊藤

会場2「保育現場での医療的ケア児の育ちを考えよう」担当:小笠原

会場3「就園や就学に「つなげる」支援を考えよう」担当:大力

参加状況: 申込者総数66名(定員に達したため増員。増員分含め締め切り前に定員に達した)

最終参加者61名(午前の部のみ参加12名、終日参加49名)

振り返り

【午前の部】

①「医療的ケアとは?という基本的な事項を確認し、研修の導入とした

②「医療保育専門士という資格を初めて知った方も多く、非日常の中で提供する遊びにある力に触れ日々の遊びや保育の重要性を再認識してもらった機会となった

③行政や地域の他事業所からもサポートを受け連携が図れている点や、看護師の配置、特別支援教育コーディネーターの活動などを通し、「誰もが受け入れられる」インクルーシブ保育の重要性を感じる事ができた。

【午後の部】

セッション1:医療的ケアを体験してみよう(担当 伊藤)

嚙下調整色の体験も含めた、五感で医療的ケアを学ぶことを通し、驚きと恐怖などの感情体験、臨床現場を離れて時間が経過していることに対する不安の解消といったリアリティショックの低減に有用な時間となった。

セッション2:保育現場での医療的ケア児の育ちを考えよう(担当 小笠原)

就園前の保護者へのインタビューを聞き、就園受入れで見える子ども達の育ちを考え、受け入れ時の不安も共有することができた。最終的には未来を見据えた保育の在り方やリスク等も共有することで、職種を問わずできることがあるという前向きな自信をもつ参加者が多かった。

### セッション3:就園や就学に「つなげる」支援を考えよう(担当 大力)

就園時、就学時それぞれに園の保育士や看護師が感じる困りごとを抽出し、解決してくれそうな機関や繋げるタイミングを考えるワークを実施。ワークを通して他の地域の職種が違う方々と交流できていたことや、それぞれの困りごとを共有できたことが良かった。

#### 【全体を通して】

R6年8月に県子育て支援室が「ガイドライン作り」を促すことを目的として市町村説明会を開催した。その時に先進事例として取り上げた花巻市の事例に対し、今回は実際に受け入れを行った保育園から事例提供をしていただいた。県の説明会と合わせることで「市町村と外部との連携」というメッセージが伝わる研修になった。



岩手県医療的ケア児支援センター主催 地域体制構築支援事業

第1回支援者研修会

## 医療的ケア児のあそびと保育

～保育現場での事例を通して考える～

**日時**  
令和6年11月15日(金)  
10時～15時30分

**会場**  
トーサイクラシックホール岩手  
4階 第2会議室

**申込み (10/31締切)**  
申込フォームより申込  
(半日単位で申込み可)  
<https://form.run/@R6-5>

岩手医科大学附属病院  
小児科病棟でこども達  
に保育を提供する  
医療保育専門士  
伊藤貴子氏  
をお招きします

医療的ケアが必要な  
お子様に関わったことが  
ない方も大歓迎です

**【対象者】**① 保育士・看護師等 保育に関わる方  
② 医療的ケア児・者の支援に関わる方、これから関わる方  
※申し込み多数の場合は①を優先いたします

**【プログラム】**  
午前の部(10時～12時)  
■ 「医療的ケアって何だろう」  
岩手県医療的ケア児支援センター 医療的ケア等コーディネーター 大力 聡美  
■ 「病気や障がいのある子どもにとってのあそび」  
岩手医科大学附属病院 総務課 医療保育専門士 伊藤 貴子 氏  
■ 事例発表 花巻市みどりの保育園の取組みと実践  
みどりの保育園 特別支援コーディネーター 阿部 美由貴 氏  
担任(保育士) 大原 茉莉 氏  
主任看護師 照井 いずみ 氏

午後の部(13時～15時30分)  
■ テーマセッション (会場1～3のうち、1か所にご参加いただけます)  
会場1 「医療的ケアを体験してみよう」 ……医療的ケアモデル人形で実践してみます  
会場2 「保育現場での医療的ケア児の育ちを考えよう」 ……情報交換をしましょう  
会場3 就園や就学に「つなげる」支援を考えよう ……現場の先生方を支えるための取組みを考えましょう  
■ セッション報告会

岩手県医療的ケア児支援センター相談窓口 担当 小笠原 電話:080-8898-5339 メール:shien@icare-iwate.jp

# ○地域で暮らすためのショートステイ第2回勉強会～地域の「この子」「この人」のために「できる」ことを～

【目的】 第1回目の内容を受け、実際に地域で顔の見える関係性の中で事業所が「できる」預かりサービスから始めた事例を取り上げ、事業所が無理なくできるショートステイ受け入れ体制の構築を促す

【日時】 令和6年12月8日(日) 13時～16時

【開催方法】 ①オンライン(ZOOM)、②Youtubeによるアーカイブ配信

【内容】 講演1 「制度の紹介と岩手県の取り組み」

講師:岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

講演2 「診療所を活用した医療型短期入所(日帰り)について」

講師:谷藤内科医院 院長 谷藤 正人 氏

日中一時支援プラタナス 代表 千葉 由香利 氏

講演3 「多機能型ケアベース「にのに」の取り組み」

講師:特定非営利活動法人にこっと秋田 理事長 八代 美千子 氏

【参加状況】 総参加数104名

当日参加 27名 (ご本人・ご家族4名、医療職9名、福祉職14名、その他1名)

アーカイブ 77名 (ご本人・ご家族9名、行政職16、医療職26名、福祉職20名、その他6名)

## 【振り返り】

今回の研修からYoutubeを用いたアーカイブ配信を行った。このことにより参加人数が増え、県外からの参加もみられるようになった。岩手県の取り組みではあるが抱えている課題は地域を問わず全国的に同じであることの現れと感じた。

勉強会開催後に県のほうへ事業者からショートステイ開設についての問い合わせがあり、勉強会が地域資源の拡大につながっていることを実感した。

岩手県医療的ケア支援センター主催 地域体制構築支援事業

## 「地域で暮らすためのショートステイ」第2回勉強会

地域の「この子」「この人」のために「できる」ことを  
そんな取り組みを紹介します

2024年12月8日(日)  
13時～16時オンライン開催  
※12月16日～20日アーカイブ配信(定員なし)

福祉施設関係者・医療関係者・行政の担当者・ご家族等  
どなたでも(当日定員70名)

**講演1 制度の紹介と岩手県の取り組み**  
岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

**講演2 診療所を活用した医療型短期入所(日帰り)**  
谷藤内科医院 院長 谷藤 正人 氏  
日中一時支援プラタナス 代表 千葉 由香利 氏

**講演3 (仮)多機能型ケアベース「にのに」の取り組み**  
特定非営利活動法人にこっと秋田 理事長 八代 美千子 氏

【問合せ先】 岩手県医療的ケア支援センター  
小笠原 電話 090-8896-5339  
メール shien@care-waite.jp

https://form.run/@R6-8  
または右よりお申込みください  
11月29日締切※アーカイブ配信申し込みから

## (オ)県内における外部主催各種研修への対応(講師・参加等)

## ○県内県外研修講師:13件

月日	内容	参加者
5月18日(土)	医療的ケアに携わる看護師研修(窓口について)	大力
5月29日(水)	復興くらし再建課 市町村説明会	大力
6月12日(水)	第1回ひとにやさしいまちづくり推進指針改定検討会議	(小笠原)
6月30日(日)	日本小児科学会 第17回小児在宅医療実技講習会	小山・大力
7月29日(月)	岩手県立前沢明峰支援学校 令和6年度 ほけん・医療的ケア研修会	大力
8月 1日(木)	第2回ひとにやさしいまちづくり推進指針改定検討会議	(小笠原)
8月22日(木)	令和6年度子育て支援指導者向け研修会	伊藤・小笠原
8月24日(土)	医療的ケア児に携わる訪問看護師等看護職の交流会	大力
9月 3日(火)	青森県小児在宅サポーター勉強会	大力
10月18日(金)	岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	大力
10月19日(土)	岩手県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	大力・伊藤
10月20日(日)	小児看護特有の看護師術の指導	大力
11月26日(火) ~27日(水)	第51回東日本施設協議会シンポジウム 「地域の医療的ケア児支援における重症心身障害児者施設の役割」	小山
12月 3日(火)	第3回ひとにやさしいまちづくり推進指針改定検討会議	(小笠原)
12月 5・6日	令和6年度医療的ケア児等コーディネーター養成研修	大力・小笠原・伊藤
12月20日(金)	奥州市自立支援協議会(災害対策について)	大力

## ○県内研修への参加:16件

月日	内容	参加者
5月21日(火)	青森小児在宅サポーター勉強会	大力・伊藤
5月29日(水)	復興くらし再建課 市町村説明会	小笠原・伊藤
5月30日(木)	医療的ケア児等コーディネーター支援協会 研修 『能登半島地震を経験して ~医療的ケア児支援センターからみえた課題~』	大力・伊藤
6月12日(水)	第52回埼玉県小児在宅医療支援研究会勉強会 「能登半島地震第2弾-迅速な避難の秘訣-」	大力
6月15日(土)	岩手県看護協会主催 医療的ケア児支援者育成業務研修	大力
9月 5日(木)	創作活動に関する権利保護研修会	小山・小笠原
9月21日(土)	日本小児在宅医療支援研究会	大力
10月 6日(日)	宮城県医療的ケア児等コーディネーター養成研修	大力・伊藤・小笠原
10月26日(土)	宮城県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(演習)	大力
10月27日(日)	宮城県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(演習)	大力・伊藤
11月 8日(金) ~9日(土)	第49回日本重症心身障害学会(神戸国際会議場)	大力(伊藤)
11月10日(日)	一関市主催・ぽけっとの会:こんな避難所が欲しい! 在宅から避難所まで要配慮者の視点で考える体験型防災ワークショップ	小笠原 (大力・伊藤)

11月16日(土)	WHOLE EARTH DAY 災害の現場から未来を語る	小笠原 (小山・伊藤)
11月19日(火)	青森県小児在宅サポーター勉強会 青森県の医療型短期入所の現状	大力・小笠原
11月20日(水)	第54回埼玉県小児在宅医療支援研究会勉強会 「医療的ケア児支援法を見直す」	大力
12月14日(土)	医療的ケア児等コーディネーター支援協会 全国大会 「地域を超えて、つながり学ぶ」	大力・小笠原・伊藤

○その他

【体制構築支援に係る訪問・面会】

月日	内容	
4月 9日(火)	認定NPO法人 いわて子育てネット	訪問
4月15日(月)	公益社団法人 岩手県看護協会	訪問
4月16日(火)	岩手県立療育センター	面会
4月19日(金)	岩手医科大学附属病院	訪問
4月22日(月)	北上市 相談支援センターさくら	訪問
4月23日(火)	岩手県立大学防災復興支援センター	
4月24日(水)	県庁 障がい保健福祉課、子ども子育て支援室、医療政策室 教育委員会学校教育室、医療局経営管理課、 復興防災部復興くらし再建課	訪問
5月23日(木)	花巻市みどりの保育園	訪問
	花巻市教育部 就学前教育課	訪問
	岩手県 子育て支援室	訪問
6月17日(火)	北上市教育委員会	訪問
7月 3日(水)	一関市教育委員会	訪問
10月26日(土)	谷藤内科医院 日中一時支援プラタナス	訪問
11月 5日(火)	釜石基幹相談支援センター	訪問
11月13日(水)	山田町教育委員会(ガイドライン作成)	訪問
12月18日(水)	岩手県教育委員会	訪問

【その他】

月日	内容	参加者
4月13日(土)	岩手医科大学アウトドア同好会 りんごネード 協力	小笠原
4月17日(水)	特定非営利活動法人 にこっと秋田 多機能型ケアベース にのこ 訪問	大力・小笠原・伊藤
5月 9日(木)	岩手県立大学社会福祉学部 現代福祉特論	小笠原
5月16日(木)	岩手県立大学社会福祉学部 現代福祉特論	小笠原
6月30日(日)	【アイライン岩手の会主催・岩手県医療的ケア児支援センター 協賛事業】集まれ！アイライン2024	小山・大力・ 伊藤・小笠原

8月27日(月)	自治体医療的ケア児 就園担当者研修会 (岩手県子育て支援室主催岩手県医療的ケア児支援センター共催)	大力・伊藤・小笠原
9月15日(日)	矢巾町避難訓練	大力
9月20日(金)	市民公開講座 感謝状贈呈(当日参加できなかった方へ)	小山・小笠原
11月 2日(土)	令和6年度宮古圏域地域障がい児支援体制強化事業 社会福祉法人若竹会 児童発達支援センターかぐや 主催 「医療的ケア児等三陸鉄道乗車体験交流会」参加	大力